



じとぜんひろば

No.78 2014年(平成26年) 1月1日 地御前地区コミュニティ推進協議会

トピックス

高齢者の自転車事故が多発しています。

夜間走行には反射材を着用するなど視認性をたかめ安全を期しましょう。

12月1日に道路交通法(自転車)が改正、自転車の逆走は法律で禁止され、違反には5万円以下の罰金も。

改正点

「自転車が通行可能な路側帯は、道路の左側部分に設けられた路側帯のみ通行可」
今後は自動車と対面走行は禁止されます、気を付けましょう。



着々と進む漁港護岸工事

がんばれ地御前っ子

宮本夏海さん(海晴が丘)



12月25日(28日大阪府立体育館で行われる第27回全国都道府県対抗中学バレーボール大会)に出場する広島選抜チームに宮本夏海さん(阿品台中3年)が選ばれ活躍が期待されます。

宮本さんは地御前小学校2年生からバレーボールを始め地元金剛寺ドリームで活躍。阿品台中学に進み、今回の厳しい選手選考会で12人の枠に選ばれました。大会では、長身(169cm)を活かしたセ

ンターからの攻撃でベスト8を目指します。

五十嵐優花さん(野坂)



第22回全国高等学校女子サッカー選手権(1月10日(16日、静岡県磐田市)に中国地区代表で山陽女学園高等学校が出場。五十嵐優花さん(3年)は小学2年生から父親の影響でサッカーを始め地御前小学校6年生の時、アンダー12で全国大会に出場しベスト8に進んだ経験もあり、今大会でもチームのボランチで守備の要として活躍が期待されます。目標は、初戦突破を指します。

地御前地区自主防災会が表彰される。

(広報はつかいち12)

広島県消防関係功労者表彰

地御前地区自主防災会、地道な活動が評価

11月7日、消防関係功労者表彰が県庁で行われ、地御前地区自主防災会が表彰を受けました。平成21年度の発足以来、総合防災訓練や小学校と連携した津波避難訓練など、地道な活動が評価されました。

同会の吉本恒雄会長は「自分たちのまちを自分たちで守るためにみんなで協力し合い、活動してきた結果。これからも、地御前地区を災害に強いまちにするために、みんなで頑張りたい」と話してくれました。



地御前小学校・地御前保育園合同津波避難訓練で避難誘導の支援をする地御前地区自主防災会の皆さん。

「つぎはつ地御前のわ」

新春懇談会のお誘い

とき…1月7日(火)

19時開会

ところ…地御前

市民センター講堂

会費…2千円(当日徴収)

申込み…市民センターへ

ようちんぐ

門松・しめなわなどを
持ち寄り、ご参加ください。
とき…1月12日(日)
正午～4時頃まで

ところ…地御前5丁目ひろば

総合防災訓練について

地御前地区自主防災会

会長 吉本 恒雄

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

さて、10月6日に実施しました第2回地御前地区自主防災会 総合防災訓練には、多数の方々のご協力を賜りまことにありがとうございます。今回の訓練では参加受付住民が563名、関係者及び支援者、さらに近隣地区からの見学者等を含めると総勢630名を超える参加がありました。

皆さんの防災についての関心の高さを知る一方で、自主防災会組織の役割りの大切さを感じたところです。計画通り総合訓練を運営し成果を上げることが出来ましたが、反省点もあり今後改善してより安全を期して行きたいと思っています。当日訓練にご参加いただいた多数の皆さん、並びに準備の段階からご協力いただいたスタッフの皆さんに心より感謝申し上げます。

地球温暖化による災害は今後、想像もつかぬ大規模なものが増えられます。先に県は南海トラフ巨大地震が発生し

編集後記



▲お健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。昨年の世相文字は「輪」でした。今年も「地御前のわ」を広げ、支え合い・助け合って健康で元気のよい年にしましょう。

▲昨年の広島スポーツ界の快挙は称賛に値する。カープが念願のAクラス入りでCS出場、甲子園を真赤に染めた光景は何時までも記憶にのこるでしょう。それにもましてサンフレッチェのJリーグ連覇。

優勝を決めた広島戦、前節2位からの大逆転、森保監督を始め全員で勝ち取った勝利。県民に勇気を与えてくれた。

▲毎年のことながら、小誌の編集には頭を悩ませている。今回もよい企画を決められない、紙面を埋められない、無理に投稿をお願いする、の繰り返し。その結果オーバーフローでお詫びしなければならぬ破目に。この歳になつて進歩は考えられない、なんとかならないものか・・・

発行 地御前市民センター内
地御前地区コミュニティ推進協議会
広報部

た場合の被害想定を公表しました。報告書によりますと、廿日市市は死者85人、負傷者307人、建物全壊911棟と予測されております。

防災活動は先ず「自助、自分の身は自分で守る!」を基本に日頃からの準備が大切と言われています。当会では「一家に一人防災長」を掲げており、今回の総合訓練が、各家庭で防災について話し合う機会となれば幸いです。自主防災会としましては、今後継続的に町内会等を中心とした訓練・研修等を計画していく予定です。今後とも自主防災会活動にご支援ご協力を賜りますようお願い致します。



車椅子も参加した避難訓練

新港町内会災害時

一時避難所見学会

新港町内会長 市川 隆一

11月16日に地元町内会（新港町内会）の皆さんを対象にした、災害時一時避難所の説明会が行われましたので、概略をご報告します。

この説明会は、平成25年8月20日付けで、（株）日立ソリユーションズ西日本様と地御前地区自主防災会との間で「災害時等の一時避難場所としての使用に関する協定書」が結ばれ、同社が所有する宮島開発センタの一部を一時避難場所として使用させること

についての合意がなされ、これを受けて行われたものです。当日は、30名前後の参加があり、最初に（株）日立ソリユーションズ西日本宮島開発センタの藤野管理マネージャー様から、地震に対しての日頃からの準備等の説明があり、改めて災害時の食料や飲料の備蓄が必要であるか確認した次第です。

次に建物の中を案内していただきました。建物は、鉄筋コンクリート造り4階建てで、屋上までの高さが地上13.1mあり、3階は

体験談

体力を過信しないで！

堀新町 岡山英和

現在50才以上の男性4人に一人が前立腺肥大症にかかっていると言われてます。皆様に「健康で心豊かな日々」をお過ごしいただくために、私の体験と反省をまとめましたので、皆様の日々の健康管理の参考にしていただければ幸いです。

62才の年に、夜間トイレに行く回数が2回以上になり、昼間にはトイレに行く回数も増えた。また出し終わるまで時間がかかるようになった。

排尿について気になりましたので病院で触診の検査を受診した結果、前立腺肥大症が確認され、採血による前立腺ガン検査（PSA）と、排尿障害を治す薬の服用を開始した。

PSA基準範囲4に対し15.24で推移したが、67才の年には、なかなか尿が出ないし、終わっても残尿感が強く残るようになった。

68才の年には、ついに電車で広島へ出る際もトイレのため途中下車が必要になり、歯の治療・散髪時も中断を余儀

地上7m、4階は地上10mとなっています。建物内部の構造は、執務室・トイレ・リフレッシブルーム・喫煙室・仮眠室があり、かなりの広いスペースがあります。仮眠室は高齢者・病人・乳幼児対応としての利用が考えられます。

また1階ロビーにはAEDも設置されており、緊急対応も可能となっています。その他、簡易トイレ・自販機の取り扱いに関しては、現在検討中ということでした。

広島県最新の南海地震情報による廿日市市の最大浸水想定においても、3階以上に避難すれば安全であると考えられます。一昨年の東日本大震災からの教訓からも分かりますように、地震による津波が



管理者からの説明を熱心に聞く方々

発生した場合には、まず高い所に避難することこそが命が助かる最善の行動です。今回（株）日立ソリユーションズ西日本様から宮島開発センタの一部を一時避難場所として使用させていただくことは、地御前地区の皆様にとっても命が助かる手段が一つ増えたといっても過言ではなく、感謝する次第です。

目指そう健康日本一

地御前町内会連絡協議会

会長 藤咲 俊昭

地御前町内会連絡協議会では地御前長寿連合会のご協力を得て、廿日市市の助成事業の一環として健診率向上キャンペーンに取り組んでまいりました。地区の皆様のご協力のおかげで健康診断受診率を上げることができました。ここにおいて感謝申し上げます。介護保険認定調査による「本市の健康寿命は広島県内の市町では上位となっております、男性で80.03歳。女性で84.57歳となっております。男女とも80歳を超えているのは県内2市町のみとなっております。」住み慣れた地御前で、心身ともに健康で元氣よく、「おはよう」「こんにちば」「今

日もいい日だった・明日からまたがんばろう」と笑顔あふれる挨拶が交わされる地御前になりますよう、町内会役員一同誠心誠意努めてまいります。今年もよろしくお願い申し上げます。

*参考資料

廿日市市健康増進計画第2次・平成25年3月

特定健診受診率向上

キャンペーンご協力

ありがとうございます!!

廿日市市 健康推進課

保健師 門田万紀恵

「地御前地区の皆さん。健診受けましたか？」地御前のサロン等で、皆さんにお声かけさせていただきました。どこにお邪魔しても、皆さんとっても笑顔が素敵で、男性も女性もお元氣!!「健診もう受けたよ」という声もよく聞きました。

キャンペーンの取組み

今年度は、地御前町内会連絡協議会さんと協働で特定健診の受診率向上に取り組みました。のぼりや横断幕のほかパソコンクラブでチラシやポスターを作ってくださいるなど地域全体での取り組みを盛り上げていただきました。

地御前地区の受診率35%

今年度の市全域の特定健診受診率は29%です。（12月17日現在）

地御前地区は35%で、昨年度の23%から12ポイント以上も大幅アップしました！受診率はもちろんですが、大勢の方々に出会えたことも大きな成果でした。

年に一度は特定健診を！

特定健診は、血液検査や尿検査、腹囲測定などをします。ご加入の医療保険により受診場所や料金が異なりますので、詳しくは各医療保険にお問い合わせください。

市が実施する来年度の特定健診の日程は3月下旬に各家庭に配布します。

「ますます元氣な地御前」のためにも皆さん声をかけ合って健診を受けましょう。



健康推進課を表敬訪問

早期発見が重要であり「健診受けて、自分に関心、家族に安心」

三、何事も気軽に相談できる主治医をもつこと。

参考

前立腺ガン検査（PSA）標準値は4以下、しかし、これ以下でも5～10%の割合でガンが発生することもあるので検査だけでは安心しないこと。

寄稿

地御前村 元村民

石橋士郎

戦局が傾き始めた昭和一九年、広島市雑魚場町（現国泰寺町）にて兄三人姉五人の九人兄弟の末っ子として出生した。翌二十年戦況は厳しさを増し、やむなく五日市の観音村に疎開、八月原爆投下（父と次兄が直接被爆したが奇跡的に命は助かった）、終戦、秋には枕崎台風、という人為的また自然災害を経て暫らくして地御前村へ転居した。私が一歳八カ月位の時で、そこは後山（堀之町）にあったM上さん方の別荘であった。地御前村での生活のスタートだった。

地御前村は半農半漁の村で、海あり港あり、山あり田畑ありで大変静かでのどかな村だった。昭和二五年村立地御前小学校へ入学（下の姉二人はここを卒業している）、当時の写真を見ると着ている物、履いている物等からまだまだ戦後間もない状況を垣間見る事ができる。春と秋には農繁休暇があり、近くの篤農家N村さんに連れられて田植えや稲刈りを体験させてもらった。

また、ホテルはどこにでもいて、獲つて帰つては蚊帳の中に放つて眺めたものだ。地御前は祭が多かったのかもしれない。思い出すのは管弦祭「馬飛ばし」「鼻」「とんど」「お稚児さん」等々。中でも「鼻」は怖かった。姿を見ると目散に逃げ回った。

私達子供にとっては遊び場所に苦労する事はなかった。近所の寺の近くの何本か松があった広場など、格好の遊び場でチャンバラ等をよくやった。長がいて年の上下等を考慮してかバランスよく遊んでいたものだ。ニッサン（剣玉）パッチン（めんこ）、マール（ビー玉）等遊びに事欠かなかった。夏には「地御前海水浴場前」という臨時の駅ができ、地宮館と呼ばれた料亭ともあった。



集合写真：小学校3年の秋、桃山側の運動場の花壇の前、後ろにコスモスが咲いている私は「前列左から3番目」「右端は担任の池田先生」